

# 第3学年 国語科学習指導案

日 時 :平成24年11月16日

(金)

指導者 :1組 伊藤 由美子

1 単元名 うつり変わりをキャッチ！民話びょう風を作ってしょうかいしよう！

## 2 教材名

(1) 中核教材名 「三年とうげ」 (光村図書 3年下)

(2) 補助教材名 ①「三まいのおふだ」(光村図書 2年下)

②教師自作の民話びょう風「三まいのおふだ」 A及びB

③世界の民話ブックリスト (教師選定)

「さんねん峠」(岩崎書店)他 全15冊 (別紙参照)

## 3 単元を貫いて位置付ける言語活動とその説明

### 単元を貫いて位置付ける言語活動 (第3・4学年 CⅠ)

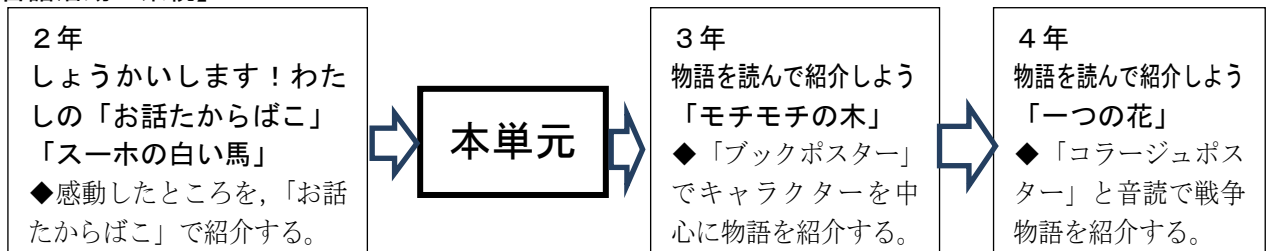
自分のお気に入りの民話を取り上げて、理由を明確にして「民話びょう風」で紹介すること。

- 自分の好きな民話の一番好きな場面とその前や後の場面を取り上げて「民話びょう風」に対比して表し、場面と場面とを関係付けて読むことで、自分が気に入った理由をはっきりさせて、その民話の魅力の説明ができる。

「民話びょう風」は、1枚目に登場人物の紹介、2枚目と3枚目が好きな場面とその前か後の場面、4枚目が気に入った理由、の4枚のカードで構成する。2枚目と3枚目の間に「変化矢印」を貼ることで、場面の変化について読むことができるようにする。

- 登場人物に着目させることで、自分が考えるおもしろい場面へと場面が移り変わるとともに変化する登場人物の気持ちについて、叙述を基に考えることができる。
- 自分のお気に入りの民話を、屏風を作って2年生に紹介するというゴールを示すことで、意欲的に世界の民話を読み、学習への意欲を持続させることができる。

### 【言語活動の系統】



## 4 単元について

### (1) 児童について

児童は、これまでに2年下「スーホの白い馬」で、自分の感動したところ中心に「お話たからばこ」としてまとめ、友達に紹介する学習を行ってきた。3年上「海をかつとばせ」では、会話や行動に着目しながら人物像をとらえたり、自分と似ているところや違うところを見付けたりする学習を行った。これらの学習を通して、心に残ったことを紹介するために、大事な文や言葉に着目して感動したところを選んで書き抜いたり、説明したりすることができるようになってきた。また、登場人物の会話や行動、情景描写を基に、登場人物の気持ちの変化や性格を想像することができるようになってきており、自分と比べながら読書をすることで読書の楽しさが広がってきている。今後、場面の移り変わりとともに変化する登場人物の気持ちの変化について関連付けてとらえ、想像力をはたらかせながら物語の世界を広げることが期待される。

7月に実施した読書アンケートによると、ほとんどの児童が、読書を「とても好き」「好き」と答えている。また、「どんな本を面白いと感じるか」という質問に対しては、「不思議な話」「怖い

話」「自分の興味のある事が書いてある本」と答えた児童が7割を超え、登場人物の気持ちの変化や物語の展開のおもしろさに目を向ける児童は少ない傾向にある。

本単元では、日本と世界の民話を多読し、民話にふれる機会を多くする。そして、リズムや繰り返しのおもしろさといった表現面だけではなく、事件が何らかのきっかけで解決へと変化したり、話の展開に伴って登場人物の気持ちが変化したりという内容面での民話の魅力に気付かせることで、いろいろな民話を進んで読もうとする児童が増えることが期待される。

## (2) 教材について

民話とは、長い歴史の中で各地で語り継がれてきたもので、その土地の風土に根ざした物語である。独特の語り口調をもって、「昔々あるところに」ではじまり、「～とさ」で終わる語りの構造は聞き手を一挙にお話の世界に誘う役割を果たしている。また、話の組み立てがはっきりしていて、多様な物語の普遍化された構造の原型であるといわれている。

中核教材の「三年とうげ」は朝鮮半島に伝わる民話である。民話独特の語り口には楽しいリズムがあり、言い伝えにより生じた不幸を、ちょっとした機転で幸せに転じたとんち話の側面もあり楽しく読める作品である。また、場面がテンポよく展開し、登場人物の性格がはっきりと描かれている。更に、言い伝えや言葉の繰り返し、人のいいおじいさんと機転の利くトルトリの会話の楽しさ、おじいさんの変化、トルトリの知恵など、話のおもしろさを見付けることにも適している。

補助教材として、話の構成が分かりやすく、登場人物の気持ちの変化が捉えやすい世界の民話を選定する。先行読書として、いろいろな国の民話に触れていることで、世界の民話の魅力や、物語のはじまりがあり事件が起こり解決するといった話の構造に着目することができる。さらに、並行読書として世界の民話の多読を推奨することにより、たっぷりと民話の世界に浸らせることができる。と考える。

## (3) 指導に当たって

本単元では、「民話びょう風」を使って、自分の好きな場面とその理由について紹介する言語活動を行う。ここで取り上げる「民話びょう風」には、自分のお気に入りの場面とその前後の場面を位置付ける。この二つの場面の登場人物の変化に着目させて読むことで、「場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化について叙述を基に想像して読む」力を付けることができる。と考える。

単元に入る前に、先行読書として朝活動の時間に民話の読み聞かせを行う。そこで、日本だけではなく世界中のいろいろな国に民話が伝わっていることを知らせ、世界の地域ごとのブックリストを渡し、世界の民話を読もうという意欲を喚起させる。

第一次では、民話ブックリストを使ってみんなで民話を読んできた中から、世界の民話のおもしろさについて話し合わせるところから始める。その上で、教師の「民話びょう風」による民話の紹介を行い、日本の昔話しか学習していない2年生に対して、2年生へ世界のいろいろな民話の魅力を「民話びょう風」で伝えたいという意欲をもたせる。民話の魅力を伝えるために、お気に入りの場面を中心に位置付け、その前或いは後の場面を「民話びょう風」にかき、「民話びょう風」の一番左側にはお気に入りの理由を文でまとめる。一番右には、民話の設定、登場人物の紹介を書くことにする。

第二次では、中核教材「三年とうげ」の「民話びょう風」を作りながら、お気に入りの理由を明確にしていく。まず、お気に入りの場面の絵と、その理由を説明するために大切な文を選んで書き抜く。次に、なぜそうなったのか、或いはその後どうなるのかを考えて、前、或いは後の場面の絵を選ぶ。そして、その2枚のびょう風絵を比べることで、場面の移り変わりや登場人物の変化による話のおもしろさをはっきりさせ、お気に入りの理由を文章にまとめさせていきたい。できあがった「びょう風」を使って「三年とうげ」の魅力について交流することで、一つの話でもいろいろな感じ方があることに気が付き、読書の楽しみ方を広げることができる。と考える。

第三次は、今まで読んできた世界の民話の中から自分のお気に入りの民話を選び、「民話びょう風」を作る。おすすめの言葉も記入し、2年生に紹介する準備をしていく。

単元全体を通して、多くの作品に出会わせ、民話を読む楽しさに気付かせながら登場人物の変化に目を向けさせ、児童の読書生活が豊かになるよう指導にあたっていきたい。

## 5 単元を通して育てたい読書力

**B** 本や文，文章，図，表，グラフ等のテキストを様々な方法で読解する力

## 6 単元の指導目標

- 紹介したい本について説明するために，本を繰り返し読むなどしておもしろさを味わったり，新たなおもしろさに気付いたりしながら読もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- ◎ 自分のお気に入りの場面とその前や後の場面を比べ，場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化などについて，叙述を基に想像してとらえることができる。 (C読むこと ウ)
- 自分が紹介したい民話について，選んだ理由を明らかにしながら読むことができる。 (C読むこと カ)
- 表現したり理解したりするために必要な語句を増し，また，語句には性質や役割の上で類別があることを理解することができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(オ))

## 7 単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
民話の世界に浸りながら，自分の紹介したい本について説明するために，本を繰り返し読むなどして，改めて味わったり，新たなおもしろさに気付いたりしながら読もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ本のおもしろさを説明するために，場面の移り変わりや登場人物の性格や気持ちの変化をとらえて読んでいる。(ウ)</li> <li>・様々な本を読み，おもしろいと思う本について，その理由を明らかにしながら読んでいる。(カ)</li> </ul>	表現したり理解したりするために必要な語句を増し，語句には性質や役割の上で類別があることを理解している。(イ(オ))

## 8 指導計画 (C読むこと 8時間)

次	時	○目標 ・主な学習活動	○指導上の留意点☆評価 (方法)	テキスト
	課外	○朝活動の時間に，民話の読み聞かせを聞き，世界の民話に興味をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界地図を用意し，日本と世界の各地域の民話を地図の上に示す。</li> <li>○各地域の民話のブックリストを用意する。</li> <li>☆世界の民話を進んで読もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の民話ブックリスト(先行)</li> <li>・読書カード</li> </ul>

一	1	<p>○今まで読んだ民話の魅力について話し合い、学習計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックリストの民話の中で心に残っている話を話し合う。</li> <li>・教師自作の「民話びょう風」による民話の紹介を聞いて、学習の見直しをもつ。</li> <li>・学習課題</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「民話びょう風」で、世界の民話の面白さを2年生に紹介しよう。</p> </div> <p>を設定する。</p>	<p>○民話について自由に話し合わせる中で、多くの民話には、言葉や繰り返しのリズムが楽しいもの・知恵や機転で事件が解決するもの、ヒーローによって事件が解決するもの等、いろいろな型があることに気付かせる。</p> <p>○教師自作の「民話びょう風」のモデルを見て、お気に入りの場面とその理由を紹介するという見直しをもてるようにする。</p> <p>○日本だけではなく世界にも心惹かれる民話があることを紹介しようとする意欲をもたせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の民話ブックリスト(並行)</li> <li>・読書カード</li> </ul> <div style="text-align: center;">↓</div>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「民話びょう風」で、2年生におすすめの民話を紹介することをゴールにし、学習計画を立てる。</li> </ul>	<p>☆2年生に向けてお気に入りの民話の魅力を紹介しようとしている。(観察・ワークシート)</p>	
	2	<p>○「三年とうげ」を、組み立てを考えながら読み、おもしろいところについて話し合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじまり」「事件が起こる」「事件が変化する」「事件が解決する」という観点で読む。</li> <li>・「三年とうげ」のおもしろいところについて話し合う。</li> </ul>	<p>○「はじまり(時・場所・人物の紹介)」「事件が起こる」「事件が変化する」「むすび(解決・その後)」を簡単な文でワークシートにまとめる。</p> <p>○好きな部分は一人一人違うことを確認する。</p> <p>☆組み立てを考えながら読み、おじいさんの様子の変化についてまとめている。(ワークシート)</p>	
二	3 本時	<p>○「三年とうげ」で、自分のお気に入りの場面と、その前或いは後の場面のびょう風を作り、お気に入りの理由を考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のお気に入りの場面とその前或いは後のびょう風の絵を選ぶ。</li> <li>・お気に入りの場面の絵に合わせて、気に入った理由が伝わる部分を選び、「びょう風」に書き抜く。</li> <li>・お気に入りの場面と、その前或いは後の場面を比較し、その移り変わりから、話のおもしろさを考える。</li> <li>・2年生におすすめしたい民話の、お気に入りの場面と、その前或いは後の場面を見るける。</li> </ul>	<p>○びょう風絵に合う文を書き抜く時に、絵に対応させるだけではなく、「自分が気に入った理由が伝わる」という観点を大切にさせる。</p> <p>○2枚目の絵を選ぶときには、登場人物の変化や何がきっかけで変化したのかに着目させる。</p> <p>○数人の「びょう風」を黒板に貼り、仲間分けすることで、話の移り変わりからくるおもしろさを明確にする。</p> <p>☆「三年とうげ」のお気に入りの場面と、その前或いは後の場面の絵を選び、話の移り変わりから、お気に入りの理由を考えている。 (民話びょう風)</p>	

	4	<p>○「三年とうげ」のお気に入りの理由についてまとめ、「民話びょう風」を完成させることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三年とうげ」のお気に入りの理由についてまとめる。</li> <li>・「民話びょう風」を完成させ、グループで発表し合う。</li> <li>・「世界の民話ブックリスト」から、紹介したい本を検討する。</li> </ul>	<p>○同じ民話でもおもしろいと感じるところが違うことに気付かせる。</p> <p>○「世界の民話ブックリスト」の民話の中から、自分が紹介したい民話を考える。</p> <p>☆お気に入りの理由をはっきりさせて「三年とうげ」を紹介している。 (民話びょう風)</p>	
三	5	<p>○2年生に紹介したいお気に入りの民話を選び、その魅力について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を決定する。</li> <li>・お気に入りの場面と、その理由について考える。</li> <li>・同じような本を選んだ子どもたちでグループをつくる。</li> </ul>	<p>○2次の学習した事を想起させ、「はじまり(時・場所・人物の紹介)」「事件が起こる」「事件が変化する」「むすび(解決・その後)」を簡単な文でワークシートにまとめる。</p> <p>☆魅力について考えながら読み、意見を交流している。(ワークシート)</p>	<p>・世界の民話ブックリストの中から1冊選定</p> <p style="text-align: center;">↓</p>
	6 7	<p>○自分のお気に入りの場面を中心に、「民話びょう風」を作ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お気に入りの場面を選び、その場面の絵と、その理由が伝わる文を書き抜く。</li> <li>・お気に入りの場面がどのように変化するが、その前或いは後の場面を選ぶ。</li> <li>・選んだ民話のお気に入りの理由をまとめる。</li> <li>・おすすめの言葉を書く。</li> <li>・発表練習をする。</li> </ul>	<p>○「三年とうげ」で作った「びょう風」を参考にさせる。</p> <p>○お気に入りの理由を考える際には、場面の移り変わりに着目させ、お気に入りの理由を明確にさせる。</p> <p>☆自分が好きな民話の魅力を伝えるために「民話びょう風」を作っている。(民話びょう風)</p>	
	8	<p>○「民話びょう風」を使って、友達に世界の民話を紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような内容の民話のグループをつくる。</li> <li>・お気に入りの民話を紹介し合う。</li> </ul> <p>○単元を通しての学習の振り返りを行うことができる。</p>	<p>○同じような内容の民話であっても、感じ方が違うことに気付かせる。</p> <p>○世界の民話を読むことの楽しさを感じる事ができたこと、世界の民話にもいろいろな魅力があることについて、確認する。</p> <p>☆「民話びょう風」を使ってお気に入りの民話を紹介し合って、感想を伝えている。</p>	
課外		<p>○朝活動の時間に、2年生の教室でお気に入りの世界の民話を紹介することができる。</p>	<p>○1回につき、4～5人ずつ2年生の各学級で紹介し、感想をもらう。</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>世界の民話ブックリスト</p>

## 9 本時の指導

### (1) 本時の目標

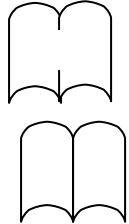
お気に入りの場面と、その前或いは後の場面を選び、どのように話に移り変わったのかをとらえて、話のおもしろさについて考えることができる。

### (2) 本時の展開

段階	学 習 活 動	◎重要思考と言語操作 ○留意事項 ☆支援	
導入 (五分)	1 本時の学習課題を確認する。 <table border="1"><tr><td>学習課題 自分のお気に入りの場面を選んで、「三年とうげ」のおもしろさをさぐろう。</td></tr></table> 2 学習の進め方を確認する。(クラスワーク)	学習課題 自分のお気に入りの場面を選んで、「三年とうげ」のおもしろさをさぐろう。	○学習の内容や流れの見通しをもたせる。
学習課題 自分のお気に入りの場面を選んで、「三年とうげ」のおもしろさをさぐろう。			

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開 (四十分)</p>	<p>3 2つのモデル「びょう風」を再読して、作り方を確かめる。(全体)</p> <p>A・・・前の場面⇒一番お気に入りの場面 (どう変わったのか)</p> <p>B・・・一番お気に入りの場面⇒後の場面 (その後どうなったのか)</p> <p>4 「三年とうげ」のお気に入りの場面と、その前或いは後の場面を選び、話の移り変わりを考えて「びょう風」をつくる。(個)</p> <p>(1) 自分のお気に入りの場面と、その前或いは後のびょう風絵を選ぶ。</p> <p>(2) 絵に合わせて面白さが伝わる文を選び、「びょう風」に書き抜く。</p> <p>(3) 一番のお気に入りの場面に、どう変わったのか、或いはその後どうなったのか、を考えて「矢印カード」に書く。</p> <p>5 選んだ場面を全体で交流し、移り変わりによって生まれるおもしろさについてまとめる。(全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ</p> <p>「三年とうげ」のおもしろさは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トルトリの知恵で変わったおじいさん。</li> <li>・三年とうげの歌をかえて歌ったところ。</li> </ul> </div>	<p>○「三枚のおふだ」のびょう風A及びBと、「三枚のおふだ」の本文を対比させ、一番のお気に入りの場面の絵と、その前或いは後の絵を選ぶこと、お気に入りの理由を説明する上で大切だと考える部分を書き抜くこと等を説明する。</p> <p>○お気に入りの理由を説明するために、その場面の前か後の場面を付け加えて移り変わりを表すことが効果的であることを確認する。</p> <p>○前時のワークシートを参考に、自分のお気に入りの場面のびょう風絵を選ぶことにする。</p> <p>○びょう風絵に合う文を書き抜く時に、絵に対応させるだけではなく、「お気に入りの理由が伝わる」という観点を大切にさせる。</p> <p>○2枚目の絵を選ぶ際に迷っている場合は、登場人物の変容に着目させて、登場人物が変化する前か後の場面を選ぶようにする。</p> <p>○人物の変容を表す時には、「人がら言葉集」を参考にさせる。</p> <p>◎自分のお気に入りの場面にどう変わったのか、或いはその後どう変ったのか、「矢印カード」に書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価</p> <p>自分のお気に入りの場面を選び、その前或いは後にどうか変わったのかを考えることができる。</p> <p>☆ 選んだ2枚のびょう風絵を比べて、登場人物に着目させ、どのように変わったのか、それは何がきっかけなのか順に考えさせる。</p> </div> <p>○代表児童5人程度の屏風を取り上げる。</p> <p>○それぞれのお気に入りの場面と、その或いは後の場面へどのように移り変ったのかを発表させる。</p> <p>○話が移り変わることによって、いろいろなおもしろさが生まれることに気付かせる。</p> <p>○児童が再読し始めたら、だれがどんな本を選んでいるか記入して掲示する。</p>
	<p>6 「世界の民話」の中から、自分が紹介したいと思っている本のお気に入りの場面を決めるために、再読する。(個)</p> <p>7 次時の学習内容の確認</p>	<p>○お気に入りの場面と、その前或いは後の場面に付箋をはる。</p> <p>○次時は、「三年とうげ」のおもしろさについて文章でまとめ、互いに交流することを確認する。</p>

10 板書計画



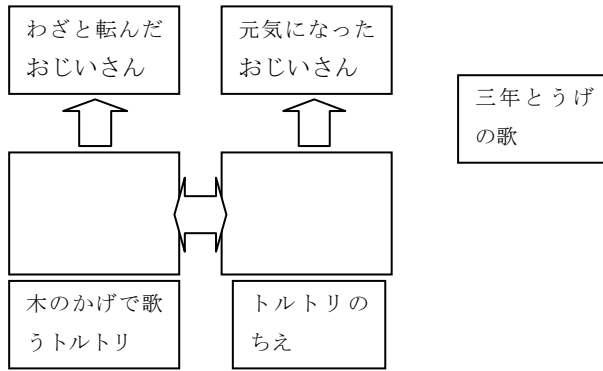
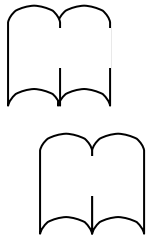
しょうかいしたい本

「三年とうげ」のおもしろさ  
おじいさんの変化  
トルトリの知恵  
な

児童の  
屏風

お気に入りの場面を選  
げーのおもしろさをさぐ  
「三年とうげ」のおもしろ

うつり変わりをキャッチ！民話びょう風を作  
三年とうげ



【モデル 民話びょう風A】

【モデル 民話びょう風B】